

## 施策の方向性



**参画・パートナーシップによる推進**  
市民・事業者・行政全ての主体がそれぞれの役割を自覚し、立案を含め相互の協働・連携（パートナーシップ）によって取り組み、誰一人取り残さない持続可能な社会を目指します。

- ☑ 各世代の参画を促すための環境教育
  - + 環境活動人材育成などの支援
  - + 学校カリキュラムと連動した環境学習の推進



ごみと資源の分別ルールを学ぶ教材「くらしとごみ」を小学生に配布し、環境学習を推進します。

- + 環境学習拠点等を活用した体験型ワークショップを含む、環境学習の機会の創出



カボんづくり



紙すき体験

- ☑ 情報発信の強化・情報交換の推進
  - + WEBページやSNSなど様々な媒体を活用した、わかりやすい環境情報の発信
  - + 市民・市民団体・事業者など多様な主体が参加する交流イベントなどの開催



本計画の策定にあたり、市民の皆さんの意見を集めるため、計4回の市民ワークショップ「GREEN TABLE」を開催しました。

- ☑ 各主体間の連携や、県・近隣市町との連携
  - + 産官学連携による、知見の共有や環境保全につながる取り組みの推進
  - + 環境保全協定の締結などによる連携
  - + 自治体間の連携で、限られた資源を有効活用し、行政サービスを維持・向上

